

北海道教育委員会「S-TEAM 教育推進事業」
令和6年度（2024年度）授業等改善セミナー

道北・情報 実施報告



令和6年10月17日（木）、北海道旭川商業高等学校を会場に、道北ブロック（上川、留萌、宗谷管内）授業等改善セミナー（情報）を開催しました。道北ブロック各管内から4名の参加がありました。本セミナーの実施内容等を紹介いたしますので、授業改善の参考として御活用ください。

実 施 状 況

【説明】 「教科情報における個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実」をテーマとして指導主事が説明をした。参加者は、個別最適な学びのイメージ、協働的な学びのイメージなどについて各自クラウドに入力し、リアルタイムに共有、他者参照しながら説明を聞いた。また、学びに困難さを抱える生徒への配慮、教科における探究的な学びなど、ICT活用に関する様々な情報を共有した。



【実践発表】「情報科における個別最適な学び、協働的な学びの一体的充実」

教科情報のスペシャリストである北海道札幌北高等学校の前田健太郎先生から、「情報科における個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実」をテーマに、情報Ⅰの単元「データの活用」における授業実践を紹介いただいた。令和6年度「高等学校教育課程編成・実施の手引（共通教科情報）」を基に、教材や指導上の工夫について詳しく紹介いただいた。



※ [令和6年度高等学校教育課程編成・実施の手引・共通教科情報はここから](#)



【ワークショップ】「個別最適な学び」や「協働的な学び」を充実させるための学習活動の工夫について」

教科情報のスペシャリストである北海道札幌北高等学校の前田健太郎先生が実践されている個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実が図られた授業を、参加の先生方に体験していただいた。

データ分析について、Pythonを用いた場合と表計算ソフトを用いた場合で、それぞれヒストグラム、箱ひげ図や散布図を作成し、相関係数や回帰直線を求め、比較検討した。参加者は、どのように生徒が学ぶかを体験し、自身の授業づくりに反映できるよう考えながら取り組んでいた。



【研究協議】「教科情報における個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実が図られた授業改善について」

ワークショップの実施後に、「教科情報における個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実が図られた授業改善について」をテーマに研究協議を行った。テーマを踏まえて、自校における実践や課題について積極的な意見交換を行った。



セミナー参加者の声

【参加者の声】

- ・教科内容を題材に探究することに対してイメージが深まりました。
- ・他者・途中参照ができ、自らの考えを深めることに繋がることを理解しました。
- ・先進的な授業内容や進学校の置かれている現状、他校の現状を知ることができました。
- ・具体的な実践事例や他校の課題を共有し、アドバイスをいただくことができました。
- ・個別最適な学びができるような授業、協働的な学習になるような授業にできるよう授業改善を心がけていきたい。いろいろな学校の先生方と情報共有ができる機会がとてもありがたいです。またこのような機会があれば参加したいと思います。

【アンケートの結果（一部）】

- 1 「探究的な学び」・「主体的・対話的で深い学びの充実」に関する理解が深まりましたか。
 - ・おおいに深まった 75.0%
 - ・深まった 25.0%
- 2 本セミナーの内容はあなたの今後の授業改善に活用できますか。
 - ・大いに活用できる 100.0%